| 科目ナンバリング | U-LAS70 10001 SJ50 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | ILASセミナー ：古代ギリシア哲学入門<br>ILAS Seminar :Introduction to the Ancient Greek Philosophy | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 文学研究科　准教授　早瀬　篤 | | |
| 群 | 少人数群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | ゼミナール（対面授業科目） |
| 開講年度・<br>開講期 | 2025・前期 | 受講定員<br>(1回生定員) | 7 (7) 人 | 配当学年 | 1回生 | 対象学生 | 全学向 |
| 曜時限 | 金5 | 教室 | 文学部校舎L506 (本部構内) | | | 使用言語 | 日本語 |
| キーワード | 思想史関連 / 古代ギリシア哲学 / プラトン / 認識論 / 宇宙論 | | | | | | |

**[授業の概要・目的]**

本授業では、古代ギリシア哲学への誘いとして、京都大学文学研究科西洋古代哲学史専修の教授を勤めた藤澤令夫（1925-2004）の遺作『プラトンの認識論とコスモロジー』（岩波書店、2014年）を精読します。

藤澤先生は、日本を代表する哲学史研究者のひとりであり、プラトン哲学を専門としていました。そして本書は、藤澤先生独自のプラトン研究を集大成しようとしたもので、藤澤先生が重視するプラトンの三つの対話篇（『パルメニデス』と『テアイテトス』と『ティマイオス』）の分析を機軸としながら、常識的な世界観とは異なる立場を提示するプラトン哲学が現代の私たちにとっても真剣な考察に値することをきわめて明解に論じています。

他方で、世界のプラトン哲学研究は、藤澤先生の時代から大きく変貌を遂げています。藤澤先生の時代には、プラトンはソクラテスの哲学を描写する段階から自分独自の思想を提示する段階へと発展したと理解することが世界の学者の共通了解でしたが、現在ではこの発展図式を取り入れる学者は少数派になりつつあります。

本授業では、現役のプラトン研究者である講師とともにこの本を精読することを通じて、西洋哲学史において圧倒的影響力を誇ったプラトン哲学の概要を知るだけでなく、本格的な哲学研究書を適切に理解し、それを批判的に考察する能力を身につけることを目指したいと思います。

**[到達目標]**

プラトン哲学に関してその基本部分を説明できるようになること
本格的な哲学研究書を適切に理解し、批判的に考察できるようになること

**[授業計画と内容]**

授業では藤澤令夫『プラトンの認識論とコスモロジー』の第1章から第4章までを精読していきます。毎回30ページ程度進む予定で、事前にその回の発表担当者を決めて、あらかじめその回に読む箇所の議論を整理してもらいます。授業の最初に発表担当者が他の参加者に説明を行い、その後で全員で検討するという手続きをとります。第7回目の授業では、講師が現在のプラトン研究の状況を紹介するとともに、それまで読んできたことを振り返る機会をつくります。第15回目の授業はフィードバックとします。

第1回　イントロダクション
第2回から第6回まで　『プラトンの認識論とコスモロジー』の第1章から第3章の講読
第7回　現代のプラトン研究の紹介とこれまでの振り返り
第8回から第14回まで　『プラトンの認識論とコスモロジー』の第4章の講読
第15回　フィードバック

ILASセミナー ：古代ギリシア哲学入門(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：古代ギリシア哲学入門(2)

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

成績評価は、以下のように行います。
発表担当の役割を適切にこなすこと（一人2回を予定）60点満点
毎回の議論に積極的に参加すること　40点満点

**[教科書]**

藤澤令夫 『プラトンの認識論とコスモロジー』（岩波書店、2014年）ISBN:978-4-00-024700-9
講読に必要な資料のコピーは授業で配布します。

**[参考書等]**

（参考書）
藤澤令夫 『藤澤令夫著作集全7巻』（岩波書店、2000-2001年）
田中美知太郎（訳） 『プラトン全集4　パルメニデス、ピレボス』（岩波書店、1975年）
プラトン（田中美知太郎（訳）） 『テアイテトス（岩波文庫）』（岩波書店、1966年）

**[授業外学修（予習・復習）等]**

発表担当者は、事前に議論する箇所をまとめてレジュメを作成してください。
その他の参加者は、各回に議論する箇所を丁寧に読んでおき、分からないことや疑問に思うことを授業中に説明できるように準備してください。

**[その他（オフィスアワー等）]**

**[主要授業科目（学部・学科名）]**